

南極観測隊は様々な職種が集団で、それぞれの専門性をいかして日々仕事を遂行しています。そんな中、医療隊員だけが違った立場にいます。それは『常に出番があるわけではない』ということです。観測隊員は出発前に国内で厳しい身体検査を経て選ばれているため、越冬中滅多に病気になることはありません。そのため病気に対して治療することはほとんどないのです。しかしながら過酷な環境で行う仕事柄、ケガは発生します。ケガ人が出ればもちろん医者の出番となりますが、ここでも問題があります。『医者が活躍しても喜ばれない』のです。南極観測隊は越冬期間中に病気やケガをすることなく過ごすことが一番の目標であり、医者が活躍するということは、それが達成出来なかったということになります。実際51次隊では2名事故による骨折事例が発生しました。全力を持って治療にあたり、幸いにも無事回復しましたが、自分自身『良くがんばった』と喜ぶことはありませんでした。南極では医者の出番がないことが一番喜ばしいことなのです。



▲ギプス固定



▲縫合処置



▲雪上車内でケガ人に対して処置

<告知>

岡田院長は第51次南極観測隊員としての講演を幅広くお受けしております。講演のご依頼はつばさクリニック上畑までご連絡ください。

『求人のお知らせ』

現在、つばさクリニック岡山では**看護師**を募集しております。在宅医療の経験の有無は問いません。詳しくはホームページ求人案内もしくはお電話にてお問合せください。



医療法人つばさ

つばさクリニック

診療科目 訪問診療 内科 循環器科
呼吸器科 整形外科
定期訪問 午前9時～午後5時
緊急往診 24時間対応
住所 倉敷市大島534-1
電話番号 086-424-0283
HP www.tsubasa-clinic.net

つばさクリニック岡山

診療科目 訪問診療 内科 小児科
定期訪問 午前9時～午後5時
緊急往診 24時間対応
住所 岡山市北区奉還町1-7-7
電話番号 086-254-0283
HP www.tsubasa-okayama.net

つばさ新聞

2017



謹賀新年

理事長コメント

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別の御厚誼を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2016年は、熊本地震、鳥取地震などの自然災害で大きな衝撃を受けた出来事が多い1年でした。被災地の方々へ、改めて深くお見舞い申し上げます。一方で、医療をとりまく環境は昨年さらに変化し、地域包括ケアシステムを目指した急性期・回復期・慢性期それぞれの医療機関のより一層の機能分化と、それを推し進める形での診療報酬の改定がありました。在宅医療の分野においても「在宅専門クリニック」の制度化や「在宅緩和ケア充実診療所」などが新設され、在宅医療を担う医療機関のなかでも機能分化が一層進んだ印象でありました。

日本の医療にとってひとつのターニングポイントである2025年問題を目前に、超高齢化社会、また少子化の潮流を感じざるを得ませんが、目の前の患者様にしっかりと向き合い、「家にいたい」を支えるクリニックとして自分たちができる事をひとつひとつ確実にやっていく所存です。本年も皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。(医療法人つばさ理事長 中村幸伸)

渡邊Nsの

ひとことアドバイス



本格的に寒さが身に染みる季節になりましたが、風邪・インフルエンザにかかったという声を耳にすることが多くなってきました。皆様お身体の調子はいかがでしょう。

皆さんは風邪を引いた時にだけ特別に食べさせてもらったりした思い出はありませんか。私の実家では、風邪を引いた時にはよく母がすりおろした大根とハチミツと白湯を混ぜた「大根ハチミツ」という飲み物をよく作ってくれました。

風邪にかかると身体がだるくなったり、食欲が落ちたりすると思います。細菌やウイルスと戦っている自分の身体のためにも、おかゆやすりおろしたリンゴなど、栄養があって消化によいものをしっかり摂り、身体のサインに従って休んで、少しでも身体にエネルギーを蓄えるように心がけましょう。



スタッフ紹介バトン

看護師主任（つばさクリニック）の藤井が 岡田院長を紹介します！

岡田先生は皆さんもよくご存じのように、変わった経歴の持ち主です。もともとは凄腕の(?)外科医でしたが、思うところあり(と聞いています)、島医者として西表西部診療所へ赴任されています。その後、第51次日本南極地域観測隊医療隊員として、南極へも行かれています。先生にお願いすれば、南極についての講演を快く引き受けてくださいますので、興味がおありの方は是非!! また、島医者時代に習ったという三線が特技で、つばさクリニックにも「かじまやー」という三線クラブが誕生しています。生演奏をお聞きになった方もおられるでしょうか? まだという方は連携の会へお越しください。こちら是非!!

経歴についてはこれくらいにして、お医者さんとしての岡田先生ですが、私が最も信頼するお医者さんの一人です。熱い情熱と医者としてのプライドを持った患者さん思いの先生です。決してエラそうにせず、患者さんの話をよく聞かれます。先生という話しかけにくいと思われる方が多いかもしれませんが、そんな心配は無用です。どんなに忙しくても態度の変わらない誠実な人柄でクリニックの人気者です。少々物忘れが気になる場所ですが、まあそこは年相応ということで(笑)



『患者様へのお知らせ』

※保険証、医療受給者証などについて
医療に関わる各種証書に変更があった場合、診察時にご提示ください。

Kurashiki Home-care Meeting

倉敷ホームケアミーティング

開催日 毎月第3金曜日 18:30~19:30
対象 医療・介護・福祉に関わる皆様
参加費 無料
会場 倉敷商工会議所 (倉敷市白楽町249-5)

詳しくはつばさクリニックまでお問い合わせ下さい。

カフェつばさ

開催日 毎月不定日 19:00~20:00 (詳しくはHPをご覧ください)
対象 医療・介護・福祉に関わる皆様
参加費 無料
会場 オルガビル2F カフェグレン (岡山市北区奉還町1-7-7)

詳しくはつばさクリニック岡山までお問い合わせ下さい。



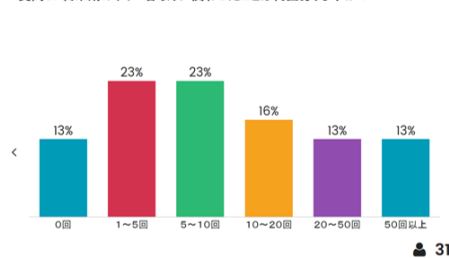
第3回【ダイニングつばさ】開催報告

2016年12月22日(水)につばさクリニック岡山 主催「第3回ダイニングつばさ」が開催されました。岡山市を中心に、日頃連携をさせて頂いております地域の医療・介護・福祉職の皆様の多数のご参加を賜りました事を深く御礼申し上げます。

例年通りの懇親会に加えて、『終活』をテーマに据え、スマートフォンを利用した参加者投票型の在宅療養に関するリアルタイムアンケートや、当院医師のインタビューセッションなどを行い、参加者の皆様と交流を深めることができました。

今後も地域の皆様との連携を大切に、患者様に安心した在宅医療を提供できるよう一層努力して参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。ご出席頂いた皆様、誠に有難うございました。

質問3: 終末期のケア・看取りに関わったことは何回ありますか? © Mindmeter



2016年の学会発表の報告

つばさクリニックでは日々の在宅診療の集大成のひとつとして学会発表を行っています。

学会名	発表者	発表形式	演題
日本在宅医学会 (2016/7)	岡田	ポスター	在宅におけるDualProbe型ポケットエコーの使用経験
	山科	ポスター	呼吸器外科医が訪問診療の世界に飛び込んだ結果
	中川	ポスター	若年在宅患者の診療実態と支援ニーズ
	國末	ポスター	当院での看取りにおける鎮静についての検討
日本プライマリ・ケア連合学会 (2016/6)	岡田	ポスター	『在宅における胃瘻交換を安全に行うための取組み~合併症ゼロを目指して~』
日本死の臨床研究会 (2016/10)	國末	ポスター	よき理解者となることで苦痛の軽減につながったと考えられるスピリチュアルペインの1例
日本クリニカルパス学会 (2016/11)	中村	シンポジウム	グループ診療をおこなう在宅専門クリニックにおけるクリニカルパスの活用

ほか

